

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部財政課

総務部長 山本 卓美

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
06-001	財政管理事務	なし	A	計画的な地方債の償還と事業内容を精査することで起債発行額の抑制を図った。その結果、目標削減額40.9億円から7.7億円を上回る48.6億円の債務削減となった。	現状維持	今後予定される公共施設の更新、新病院建設等による財政需要の増額が見込まれるため、更なる債務削減に努めたい。また、起債の発行抑制及び償還期限の短縮などにより、財政負担の平準化を図る。
06-006	自動車管理事業	なし	B	老朽化し燃費の良くない車両を計画的に更新する際に、低燃費、低排出ガスの車両を選択し、導入することで、1台当たりの燃費を向上することができた。 また、市外出張など長距離用としてハイブリッド車を優先的に使用することを職員に呼びかけたことで、全体の走行距離におけるハイブリッド車の割合が、前年度と比較すると、15.41%から17.76%へ向上した。 これらにより、燃料1リットル当たりの平均走行距離が向上し、目標を達成することができた。	現状維持	今後も市販車の中でも特に低燃費・低排出ガスな車両を、老朽車両更新時の車両購入契約の仕様等で指定することにより導入を進め、市外出張にはハイブリッド車を優先的に使用することを職員に呼びかけ、高い利用率を継続することで、環境に配慮した運用を行う。 また、運転時のエコドライブ実践に係る職員への呼びかけや、不要な荷物を搭載しないよう啓発するとともに、車両の不具合の早期発見、早期対応を推進すること等で燃費の悪化を防ぎ、成果指標の達成に努める。
課等長	1次評価(元年度の総括評価)					
B	財政管理事務については、昨年に引き続き、計画的な地方債の償還と償還額を上回らない借入額としたことにより、目標を上回ることができた。なお、今後は、新半田病院建設、小・中学校等の更新に係る費用の増加や新型コロナウイルス感染症による経済への影響などに注視し、引き続き、地方債残高の削減に努める。 自動車管理事業については、長距離移動時の低燃費車両の利用促進など公用車の利用の啓発や公用車の更新による低燃費車両の導入により、目標を達成することができた。引き続き、公用車の利用について啓発を行うことで、効率的な公用車の利用に努める。					
部等長	2次評価(元年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	地方債残高の縮減については、目標値を上回る削減を達成できた。しかし、コロナウイルス感染症拡大による税収減等に対応すべく、基金の活用に合わせて、起債による財源確保も必要となるものと考えられるため、こうした動向等を勘案し、適切な事務事業評価の目標値を設定いただきたい。 公用車については、エコ自動車を順次導入していくことにより目標値は達成できたが、エコ自動車であっても、エコドライブの啓発は必要であり、様々な手法を考え、根気強く啓発いただきたい。					